



カレンダー

月	日	曜日	作業内容・備考
9	2	土	丸紅の森
	5	火	自然観察会(植物)
	7	木	運営会議
	9	土	桜台(常磐)地区子ども工作教室⑤ フクロウ・ムササビチーム
	10	日	定例活動日 令和5年度里山ボランティア育成入門講座④
	12	火	自然観察会(鳥)
	13	水	水辺チーム
	16	土	丘陵の森
	18	月・祝	クラフト勉強会
	20	水	定例活動日
	23	土・祝	定例活動日
	24	日	里山えんぴつサポート
	26	火	自然観察会(植物)
	30	土	丸紅の森*1
10	3	火	自然観察会(植物)
	5	木	運営会議
	9	月・祝	定例活動日*1
	10	火	自然観察会(鳥)
	11	水	水辺チーム
	13	金	丘陵アドプト・カナエ
	14	土	桜台(常磐)地区子ども工作教室⑥ 丸紅社員イベント フクロウ・ムササビチーム
	15	日	令和5年度里山ボランティア育成入門講座⑤
	16	月	クラフト勉強会
	18	水	定例活動日
	21	土	丘陵の森
	24	火	自然観察会(植物)
	27	金	丘陵アドプト・カナエ 桜台婦人学級クラフト
	28	土	定例活動日
	29	日	里山えんぴつサポート
11	2	木	光明小学校5年生体験活動
	3	金・祝	ガール体験活動
	4	土	丸紅の森
	7	火	自然観察会(植物)
	8	水	水辺チーム
	9	木	運営会議
	10	金	修斉小学校体験活動
	11	土	桜台(常磐)地区子ども工作教室⑦ フクロウ・ムササビチーム
	12	日	定例活動日 令和5年度里山ボランティア育成入門講座⑥

*1 山手地区祭礼のため、日程を変更しています。

9・10月の作業

夏の暑さの中、植物の生長は旺盛で、せっかく刈り取った園路・林道の草とツルはあっという間に勢力を取り戻しています。こまめに刈り取りを行うしか手立てがありません。また、台風の爪痕がまだ所々にあるようで、園路整備もかかせません。手摺の痛みが激しいところは早急に処置します。

山頂を含めた「まごの森」「修斉の森」「源流の森」の再整備は、本格的作業に取りかかります。

「丸紅の森」については、9月は管理竹林周り、10月は新エリアの整備を予定しています。

令和5年度里山ボランティア育成入門講座報告・予定

7月16日（日）第2回

第1回で不参加の3人の方が受講辞退の申し入れがあり、受講対象者は17人となりました。猛暑の影響から体調が整わない方6人お休みの連絡がありました。尚、当日は1人の受講生の方が集合場所の愛彩ランドバス停付近入口で乗っていた自転車が乗用車に当てられて救急搬送されました。幸い検査で入院の必要がなく、通院で経過観察とのことでした。従って、第2回は10人の受講となり、作業小屋まで林道を徒歩で向かいました。

午前は、里山保全活動を安全に行う基本知識の習得〔講義危険な動植物と安全対策〕

午後は、神於山の動植物を観察すると題し、国見の森広場から藤尾池堤→3号園路尾根→4号園路→山頂→作業小屋を歩きました。

参加者の感想は、危険な動植物と安全対策でマダニ等適切な知識を持つことの大切さを午後のフィールドワークで葉笛やシダバッタの遊びを取り入れ自然解説が神於山の興味を盛り上げて高評価でした。(司会進行 0氏談)



8月20日（日）第3回

第3回は15日に台風7号が近畿に上陸し、猛暑と重なって熱中症等の体調不良によるお休み連絡が4人となりましたが、前回、事故にあわれたYさんは当くらぶ会員であるご主人と集合場所の愛彩ランドバス停前の東屋に元気な姿で現れて、スタッフ一同は大喜びでした。従って都合参加者は13人となりました。

午前は、I講師による竹林の管理の講義をし、竹林で竹を切る活動体験をしました。

午後は、S講師による竹を使ったハンモックと花入れを作る実習しました。

参加者は、各人それぞれの個性的な花入れを作り、おみやげとして喜んで持ち帰りました。

9月10日（日）第4回 講座のご協力をお願いします

里ボラ講座もいよいよ後半戦に入ります。第4回は午前中はダイナミックな木を倒し、午後からは繊細な木の細工します。(階段横木、シイタケホダギ、炭材、炭オブジェ)

講義及び実習については次の通り、予定しています。

午前は、M講師による間伐についての講義と皮むきした針葉樹のスギ木を倒す体験。

午後は、K講師による萌芽更新についての講義と落葉樹の伐採見学と木の細工体験。

当日は、定例活動日で、会員の講座へのご協力が是非とも必要です。どうぞよろしくお願ひいたします。

講座担当 野口 一

7・8月の活動

真夏日・猛暑日続きの2か月でしたが、活動には多くの会員が参加されたので、予定の作業が消化できました。お盆に大阪を直撃した台風7号によって倒木、枝折れが林道・園路に発生し、その処理に2日ついやしました。

○定例活動

・7月9日（日）

林道入口から展望が開ける竹林までの山側に繁茂しているツル、道際の草を刈り取りました。ツル類は枯木に絡んでいるので、すんなりとは取れず汗だくになってやりました。小駐車場横のエノキに絡んだツルを刈り取ると共に、枝打ちもしてスッキリとしました。また、栗林の草刈りもしました。

・7月19日（水）（旧平日活動日）

「修斉の森」の4号園路と、林道に抜けるY字分岐を少し過ぎた4号園路沿いのネザサが覆った所の植生の変化を観察すべく、ネザサを刈り取りました。少し谷となっている場所は若干の湿りがあり、上方にはスギの立ち木がまばらにあります。ノイバラに悩まされながら根気良く刈り取りました。今後の変遷が楽しみです。

この日も栗林の草刈りを行い、収穫に向けての準備を整えました。



・7月22日（土）

山頂からの各園路（3・4・5号）の繁った草を刈り払機主体で一斉に草刈りを行いました。管理竹林の草刈りもしました。30日の子どもカレッジ体験に備えて、探検コース（崖上り・トトロ道）の下見と整備を行うと共に、作業小屋前斜面のネザサ刈りをしました。

・8月13日（日）

お盆のためか、参加者はいつもより少なく、台風の影響で蒸し暑いこともあって作業小屋周辺の草刈りを主体としました。前回までに済ませた栗林の刈り取った草を柵周辺に集積しました。

・8月16日（水）（旧平日活動日）

前日の台風の被害調査を兼ねて各園路を巡回しました。1号と4号園路に大きな倒木があり次回の活動での処理としました。4号園路での小さな倒木・折れ枝は処理しながら巡回しました。林道にも枯れ枝・折れ枝が散乱しており、次回に処理することとしました。



・8月26日（土）

4号園路の大きな倒木は木こり部隊（炭焼きチーム）がチェーンソーを駆使して午前中に処置しました。1号園路の倒木処理は手引き鋸で処理し、そのメンバーが林道を上がりながら枯れ枝・折れ枝を処置しました。所々に道を覆う少し大きな枝が張り出していたのも処理しました。

昼食時には、ソーメンを皆にふるまわれました。コロナ禍の影響で、4年ぶりでの開催でした。ワイワイと楽しく食事ができ、本来の姿に笑顔がはずみました。

午後からは、丸紅の森のキリの折れ枝の処置を行いました。



<そうめん大会>

コロナでやめていたそうめん大会、今年は急にあることになりました。長い竹を縦半分に割り、長机に渡し一節毎にそうめんを一人分ずつ入れ、食べる直前に氷水を入れてほぐし冷たいそうめんを頂きました。薬味は紫蘇、ねぎ、しょうが、椎茸。台風の前づけ、栗拾いを終えた後の冷たいそうめんは酷かった今年の夏の「締め」になりました。(吉田)



○丸紅の森活動

・ 7月1日 (土)

雨模様のため、倉庫整理を行いました。購入予定のチップパーと、手狭となった倉庫内の運搬車等の保管場所として倉庫東側に小屋を増築します。現倉庫の東側の出入り口を有効に使用し大型道具の出し入れもスムーズになります。

・ 8月5日 (土)

竹林内の竹切と、草刈りを行いました。



■ 8月4日(金) 教員初任者研修

今年度は久々に神於山で一日の研修となりました。9時愛彩ランド集合して3班に分かれました。作業小屋まで植物や地形、歴史を説明しながらでした。途中の展望からは自分の住んでいる場所はやはり興味がありそうでした。山では自然観察、竹きりとハンモックづくり、竹の花入れとえんぴつの3つを体験してもらいました。自然観察では一本橋をわたり展望台までです。一本橋では何人かはあきらめ安全策をとりましたが、ほぼほとんどが挑戦。さすが若いです。春木川源流は私が担当した班には岸和田在住者がいなかったのが少々残念でした。展望台では展望図と比べ熱心に見ていました。竹切りは班で1本切り倒しただけでしたが、全員少しづつのこぎり体験をしました。ハンモックづくりでナタの使い方もうまくでき、ハンモックにゆられると「大丈夫かな」という声が聞かれました。花入れでは少し時間がかかってしまいましたが積極的に取り組みました。えんぴつの桜の小枝は古かったので、少々堅かったかもしれません。教育活動に今日の何かヒントになることを願っています。(杉原)



■ 8月5日(土) ナイトハイク

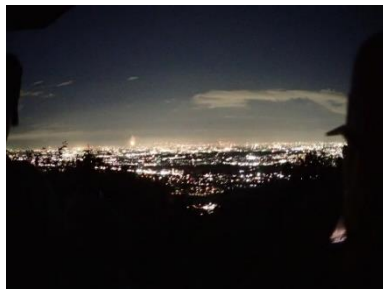
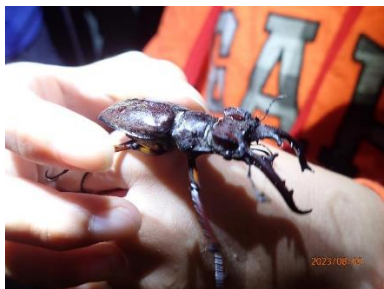
集合時間の直前に雷をともなった土砂降り。虫もおらへんやろうし、もう帰るか、、、の声が上がり始める中、19時まで様子見でステイ。待っている間に、なんとか雨は上がったものの、湿度が高く蒸れる。もう今日は中止でもええけどな、、、と思うが、車で国見の広場まで行くことになり強制連行。駐車場のトイレ横にナイトトラップを設置し、林道を展望台に向けて坂道を登り始める。

スタート時間がずれ込んだため、すでに周りは真っ暗闇。と、先行グループから歓声が。追いついてみると、なかなかのサイズのミヤマクワガタ(♂)を子供たちがゲット。また、ヘッドライトで光る眼の蛾が集まっている樹をよく見ると、カブトムシがわんさか。いやあ、雨が降っても虫は出てくるんですね、、、勉強になりました!

展望台でちょうど20時少し前。淀川の花火大会と久米田の花火大会、おまけに天神山の花火大会(大雨の為遅延)の3つの花火大会を同時に鑑賞する機会にめぐり合わせました。3年ぶりという事もあって、どこも気合の入った打ち上げ花火大会でした。

その後、里山えんぴつさんの設置した、竹スタードームを見に。竹灯りの道に沿って進むと、林の中から忽然と現れる真っ白に光るドーム。中に入っても広々としてワクワクする。外に出ると、中で残った人たちによる、即興影絵寸劇「うさぎときつね」が。芸達者な方がおられ、お見事でした！！

ハプニングだらけ。でも、結果お～らい。思い出に残るナイトハイクとなりました。(奥田)



■ 8月6日(日) 自然資料館観察会・講演会

『これからの里山と私たちの暮らし 里山「神於山」を知ろう』というテーマでの神於山の観察(午前)と自然資料館での講演会(午後)が行われました。講師は、京都大学名誉教授の湯本貴和先生で、生態学、総合地球環境、屋久島学、里山等の研究をされている方です。

8月1日の下見の後、当日、神於山の観察は保全くらぶ7名一般申込者6名と先生+自然資料館の方々3名で、猛暑の為、予定を変更し車で国見の森広場まで登り、頂上への周回コースでした。皆それぞれの興味を持って植物・昆虫・樹林・地形を見て、その歴史も考えながら解説・質問などして巡りました。

午後の講演会は、20数名(保全くらぶ+一般申込者)の参加で、先生による生物多様性、生態系サービス、里山・神於山のことについて有意義な内容でした。(概要は8/26ミニ研修で田口さんに話していただきました)

神於山でもそれぞれ土地所有者があり、その経済活動の目的によってミカン・タケノコ・茶・材木・楠(樟脳の原料)などを育てるために管理されていたが、現在はその価値が少なくなり山を管理(手入れ)しなくなっている。生態系サービスを享受することを考えながら、目的をもって里山を管理していくことの大切さ・難しさについて、実践されている研究者からの目線は大変参考になりました。(村瀬)

■ 桜台子ども工作

7月8日(第③回)

竹のカニを作りました。前年の経験から、部品(足、目玉等)を全てパーツで準備しておき、子供達には組み立てと色塗りを行うこととしました。組み立ての際には部品の長さ調整を自分でするようにすることで、表情、体制に変化が出て個性豊かなカニが完成しました。

色塗りで、半数の子供達は赤(朱)色としましたが、青、緑、竹そのままとするものもあり、赤色でも模様を入れたりと自由な発想で着色しました。



8月12日(第④回)

竹のマイ箸をつくりました。1cm角の2本の竹を小刀で削って箸としましたが、固く、子供にとっては少し長いので削るのに苦労をしました。ひたすら削る作業なので、あきそうになった子に、少しずつ削るように指導(場合によって大部分を削ったり・・・?)したことで、器用な子は驚くような出来栄えのものが完成しました。多少握りづらいと思うようなマイ箸もありましたが、皆、大事に持ち帰りました。(井阪)

■ 里山えんぴつサポート

毎月第4日曜日に活動している「岸城の森・里山えんぴつ」の活動を見守っています。

7月23日は、フォークを作ったり（金物の刃先に、木の持ち手をつける）、竹でスマホのスピーカーを作ったり……と、感心しながら見ていました。フォークの刃先は分けてもらい、クラフト勉強会でやらせてもらいました。

8月5日(土)はナイトハイク（詳しくはP.4-5）、8月27日は流しソーメンと水鉄砲あそび、スタードームもうまく使い、遊びながらも少しずつ整備されて来ています。

“岸城の森”“里山えんぴつ”と竹に字を刻んだ柱も2本立ち、使い、遊びながら整備していく活動が着実にすすんでいます。

見守り隊は、Iさん、Tさん、Nさん、そして私と顔を出しています。子どもたちから元気をもらえていいですよ。ぜひ参加して下さい。（田口）



■ 丘陵地区での活動

7、8月は、アドプト活動は夏休みです。第3土曜の“丘陵の森活動”は休むことなく草刈中心の活動です。8月の活動には、“竹の輪”（竹まつりサポートのネットワーク）のメンバーの“フラダンスチーム”の参加がありました。今後、いろいろな興味、関心ごとで応援し、協力しあえたらと思います。

8月27日(日)にはアストラゼネカさんのコアメンバー8人の“神於山見学”がありました。時間が午前中だけなので、車で入山し、私たちの活動地、丸紅の森、里山えんぴつの活動の様子、山頂の展望を楽しんでもらいました。アストラさんの今後の活動のイメージづくりの参考になればと思います。

秋、11月26日開催が決まった、“第2回竹まつり”も準備が始まっています。9月、10月の“丘陵の森”活動もそれに関連する整備作業になると思います。また、地区の“自然エリア”の愛称も決め、全体を東・西・南・北に分け、“ゆめみの森”と称し、例えば愛彩ランド下は『ゆめみの森 W (WEST)』と呼ぼうということになりました。（田口）

■ 7・8月の体験・クラフトをまとめて報告します（田口）

● 7月2日(日) “土生町子ども会” 工作教室

土生町会館にて、土生町子ども会の希望者40人と役員・保護者15人が参加して、「テーブル・ランタン」と「森のえんぴつ」作りをしました。

このはじめての企画は、桜台子ども工作教室に参加していた子どものお母さんが子ども会の役員さんで、多くの子に体験させたいとの思いから準備を進め、実現したものです。

サポートに7名が参加しました。

午後はカンカンにて“ミニ竹まつり”に移動。

● 7月2日(日) カンカン “ミニ竹まつり”

7月1日(土)、2日(日)とカンカンにて“出張竹まつり”のようなイベントがありました。“竹まつり”の宣伝や竹を使ったワークショップなどで、保全くらぶは“竹の輪投げ”と“竹の魚つり”で参加しました。予定が重なっている中、2日の日曜日のみの取り組みになり、9名の参加でした。

● 7月30日(日) 阪急子どもカレッジ「大阪の山のこと、木のことを学ぶ課外授業」

大阪府泉州農とみどりの総合事務所さんの紹介で、阪急百貨店さんのイベントに協力することになりました。

15組(各組4人まで)の募集でしたが、残念ながら申し込みは1組(両親と子ども2人)でした。午前は自然観察、午後はハンモック作りや里山あそびの時間、何にでも積極的に挑戦してくれて楽しんでくれる子と親、一緒に楽しんでくれる阪急の3人のスタッフと、農とみどりの職員さんのおかげで、楽しい時間を過ごせました。サポートは、60人を想定し、19名が参加してくれましたが……。“これで60人も来たらえらいことやったなア……。5組ぐらいで最大や!”の声がありました。

募集の仕方、宣伝の仕方、企画……等、課題が多くありました。

……この家族、作ったハンモックをお持ち帰りになりました!!また、“おみやげ”に準備したツル編かごに炭を入れ、ドライフラワーで飾ったものを、家族、スタッフさんにお渡ししました。



同日、“木こりチーム”には、8月1日、6日の自然資料館のイベントの観察会、準備のため、頂上・防災無線塔下林道脇のヒノキの切り株(樹齢80年ほどありそう)を、年輪が見やすいように切り直してもらいました。8月1日の観察会下見でここを訪れた時、この切り株を囲んで神於山の歴史や利用のされ方など話題になりました。

● 8月11日(金祝) “山の日ラボ・自然資料館・工作教室”

ウグイス笛、フクロウ笛づくりをしました。10時30分から45分間、11時30分から45分間の2回、それぞれ子ども10人、保護者10人ほどの参加でした。

コロナ禍でしばらく中止していた笛づくりを復活させました。やはり、このメニューははずせないです。手作り感と音が出た時の達成感、いいですね。なかなか音が出ない子が吹き始めると、まわりがソーッと聞き耳をたて、小さな音でも出ると本人もまわりもホッとして、笑顔になり、拍手がおきる……この感じ、好きです。

5名のサポートでした。

● 8月19日(土) 浜公園 夏休み工作教室

20名定員のところ、26名の申し込みがあり、抽選してしまうのもかわいそうだからと、26名対象にしました。

“風で走るワリバシカー”……なかなか大変でした。低学年の子が多かったこと、時間が短かったこと、暑かったこと、工程が少し難しかったこと、それに対してスタッフが少なかったこともあり、12時に完成せず、用事のある人は途中で持って帰ってもらい、時間のある人は延長し、13時30分まで頑張りました。

反省多き、取り組みでした。



■ ミニ研修

7月は、杉原さんよりイヌビワとイヌビワコバチの共生について、8月は、田口さんより自然資料館での講演のお話を踏まえて、里山は誰のものかということについてお話いただきました。



チーム活動報告

□ 植物・鳥チーム

○植物

3号園路の一箇所では確認できていないセトウチホトトギスが、昨年たくさん花をつけてしっかり結実してくれたようで、たくさんの実生苗を確認しました。今後は楽しみです。

8月の活動はお休みでしたが9月から通常通り再開します。イヌタデ、キツネノマゴ、キンミズヒキ、ヌスビトハギなども咲き出しており、植物は秋へと向かっています。今後の移り変わりにも要注目です。(上林)

○野鳥 (7月のみ)

繁殖期がピークをすぎたのか、声にも姿にも出会う頻度が少なくなってきたような気がしていた時、うれしい(?) 出会いがありました。

神於山で初ムクドリです。林道で4~5羽、広場で14羽、すべて幼鳥でした。昔は山の鳥、今は町の鳥になったムクドリ。神於山で初めて見られたという事に何か意味があるのか気になります。(宮脇)

□ 水辺チーム

活動時に確認できた生き物たち (☆は水辺チームとして初確認。初同定含む)

7月

砂防ダム上	アカハライモリ☆ (写真①) シュレオタマジャクシ手足生え☆
藤尾池	ハッチョウトンボ☆ シオカラトンボ
3号園路	ナミヒラタカゲロウ幼虫☆ サワガニ チビタゴガエル

ついに神於山でアカハライモリ発見!。シュレーゲルアオガエルの卵から幼体までの変化を確認することもできました。

最近の水辺チームスポットである砂防ダム上に倒木などが積み重なってきているため、今後整理をしようということになりました。(上林)



写真①



写真②

8月

砂防ダム 周辺	シュレ幼体☆ (写真②) リスアカネ☆ (?) ジョロウグモ
藤尾池	オナガサナエ☆ (?) ウシガエルオタマジャクシ (写真③)・ 成体 オオマリゴケムシ ブルーギル? 稚魚 アメンボたくさん
4号園路	粘菌たくさん☆ (ツノホコリ、ムラサキホコリ、ホネホコリ、シロウツボホコリなど) チャワンタケ☆
3・4号園 路など	チビタゴガエルたくさん



写真③

□ 栗林チーム

栗。初収穫!!!

今年も栗が実りました。お盆の台風で、実落を心配していました。21日の他チームでの活動日にかなりの若い実の落下があったようでした。今は小粒の実が収穫できています。

26日の定例活動日には少しでしたが、全員に持ち帰ってもらえました。今後は大粒のものが収穫できます。皆様、楽しみに山に来て下さい。(井阪)



□ クラフトチーム

7月は小屋につるす2人乗りブランコを作りました。竹とロープだけで組み立てます。ミニチュアの見本どおりにはいかず、試行錯誤を繰り返しながら、・・・・完成！！

藤尾池を眺めながら乗り心地は最高です。ぜひ、乗ってみてください。午後は、真竹の皮の草履作り。本来なら足の指にひもをかけて編んでいくのですが、Mさんが木の枠を作ってきてくれたので、そこでひもを通し編みました。片方作るだけでも四苦八苦、昔の人の器用さがよく分かりました。素足に履くとサラッと気持ち良く家で重宝しています。

8月は木の枝を使ったフォーク作り。イメージする木の枝捜しからスタートです。枝に細工をし、その先に金属のフォーク（キット）を差し込みます。個性あふれる、野趣あふれるマイ・フォークが出来ました。（ひょうの）



神於山保全活用推進協議会

コロナもあり、しばらく動きがありませんでしたが、久しぶりに動き出しました。8月23日、協議会の「活動協議部会」の会議がありました。

これまで“神於山まつり”の準備や、“活動指針づくり”を行ってきましたが、休止していました。

この度、光明連合座中・いずみの農協・府漁連・シャープ社友会・住友ゴム・丸紅・府泉州農と緑・岸和田市（農林水産、都市整備、水とみどりの各課と自然資料館、そして環境保全課）と神於山保全くらぶが出席しました。

事務局から、これまでの経過と現状、そして課題が報告され、「全体構想」・「実施計画」・「活動指針」が出された後時間もたち、活動を取りまく状況も大きく変化している。改めて、“何をめざして”“何をしていくのか”これまでをまとめて、次の課題、目標を明らかにしていく時ではないかと話がありました。次回、年内に開催される予定です。

とても重要な提案ですので、私たちも積極的に受け止め、次のステップを目指す取り組みが、神於山にかかわる多くの団体と一緒に具体化できたらと思います。（田口）

事務局だより

☆“おおさか生物多様性応援宣言”に登録

大阪府（環境農林水産部みどり推進室）の「おおさか生物多様性応援宣言」に賛同するとともに、宣言5項目に該当することから、登録申請しました。

この度、登録証が発行されました。

ロゴマークがくらぶとして使用できます。



☆ホームページ改編しています

ホームページを、シンプルに見やすくするため改編作業中です。途中段階ではありますが、のぞいてみてください。また、ご意見などがある方は事務局までご連絡ください！

神於山と私

山口 泰人

65歳で定年退職して半年ぐらいのんびりしていたが、やる事もなく身体も鈍ってきた頃に広報きしわだに“里山ボランティア育成入門講座受講”の案内を見て応募しました。里山保全といっても具体的に何をするのか分かりませんでした。受講終了後に即入会しました。私は体を動かすことが好きなので、緑豊かな神於山で保全活動を続けていき、一日でも長く健康寿命を延ばし活動していきたいと思います。

水曜日は今でもバレーボールをやっています。また、今年の4月からシニア男性の家庭料理教室にも通って好きな料理を作って楽しんでいます。

私は小さい頃、鳥取の田舎に住んでいて裏の畑には防風林として孟宗竹を植えていました。親父の転勤で大阪に引っ越してきて早や60数年。小学校2年生の時には夏休みに帰省して竹を切りノコギリで穴を開け貯金箱を作り図工の宿題にしたことを覚えています。

最後に、広報きしわだで神於山の特集がありました。田口理事長が、“里山の保全活動だけでなく、植物、鳥類、クラフトなど部会別の活動も展開しています。楽しいですよ！”と言っておられました。本当に、汗をかいて食べる弁当は美味しい（嫁さんに感謝）、帰る時は“神於山さん、今日もありがとう”今日も楽しかったと思い、そのまま、スポーツクラブに行き風呂に入って帰ります。まだまだ、分からない事ばかりですが、先輩方、ご指導よろしくお願ひします。

活動の記録(7・8月)

7月

8月

1日(土)	丸紅の森	4名	1日(木)	きしわだ自然資料館下見	8名
2日(日)	土生町子供会クラフト 竹まつり	9名 6名	4日(金)	新任教員研修	12名
3日(月)	修斉・旭小学校七夕竹	1名	5日(土)	丸紅の森 ナイトハイク	6名 5名
4日(火)	自然観察会(植物)	6名	6日(日)	きしわだ自然資料館観察・講座	7名
6日(木)	運営会議	12名	9日(火)	水辺チーム	4名
8日(土)	桜台子ども工作③ フクロウ・ムササビチーム	7名 3名	10日(木)	運営会議	12名
9日(日)	定例活動日	22名	11日(金)	自然資料館工作教室	5名
11日(火)	自然観察会(鳥)	5名	12日(土)	桜台子ども工作④	7名
12日(水)	水辺チーム	4名	13日(日)	定例活動日	22名
13日(木)	HP改編委員会	4名	16日(水)	定例活動日	6名
15日(土)	丘陵の森	5名	19日(土)	丘陵の森 浜公園夏休み工作	5名 5名
16日(日)	里山ボランティア講座②	10名	20日(日)	里山ボランティア講座③	8名
17日(月祝)	クラフト勉強会	11名	21日(月)	クラフト勉強会	11名
18日(火)	チップー見積引き合い	2名	22日(火)	まち協環境部会	2名
19日(水)	定例活動日	12名	23日(水)	HP改編委員会 神於山活動推進協議会	4名 2名
22日(土)	定例活動日	32名	26日(土)	定例活動日	31名
23日(日)	里山えんぴつ	2名	27日(日)	里山えんぴつサポート アストラ 初見学	2名 4名
25日(土)	自然観察会(植物)	4名	31日(土)	HP改編委員会	4名
30日(日)	阪急子供カレッジ	19名			

編集後記(神於山の息吹より)

セミは、ほぼミンミンゼミとツクツクボウシの二大勢力になり、行く夏を惜しむかのようなようです。麓では、モズの高鳴きも聞こえてきました。アケビの青い実がぶら下がっているのも見られます。暑い中でも、それぞれの視点で是非秋を見つけてください!(上林)